


別紙様式3 (会派研修用)

会派要望活動報告書

令和2年8月27日報告

編纂種別	議長	副議長	委員長	会派代表者	事務局長
議員研修 (委員会・会派)					
回覧					
報告者	精華未来 会派代表 (氏名) 岡本 篤  印				
標 題	京都府に対しての要望活動 について				
研 修 日 時	自 令和2年8月26日(水曜日)		午前10時00分から		
	至 平成2年8月26日(水曜日)		午前11時10分まで		
研修場所	京都府山城広域振興局(宇治市)				
主 催	精華未来				
参 加 者	三原 和久・森元 茂・塩井 幹雄・奥野 弘佳・岡本 篤 以上5名				
内 容					
上記のとおり要望活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。					
記					
○ 研修の目的(計画・事前の資料等)					
・本町が抱える課題解決に向け、要望活動を行う。					

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、府庁に行くことは控え、京都府山城広域振興局のみとした。

別紙、要望書参照

・面談者

京都府山城広域振興局 局長 川口 龍雄氏

副局長 湯浅 敏之氏

山城南土木事務所 所長 西村 祥一氏

○ 研修参加者のレポート

要望活動のため、参加者の報告書はない。

○ 研修報告書

1. 京都府

(1) 京阪奈新線の新祝園駅への早期延伸について

【要望内容】

交通アクセスの改善は、学研都市建設当初からの課題であります。

とりわけ京阪奈新線の延伸は、学研都市の中心部へのアクセスを大きく向上させるだけでなく、京都市内と学研都市、大阪夢洲を直結させることにより、沿線地域のさらなる発展と沿線住民の利便性向上が期待されます。

本町議会としても、令和元年度に全会一致で「京阪奈新線の新祝園駅への早期延伸を求める決議」を行ったほか、昨年11月には町・商工会・学研都市立地企業による「京阪奈新線新祝園ルート整備促進協議会」の設立とあわせ、「早期延伸を求める決起大会」が開催されたところでございます。

近鉄けいはんな線の学研奈良登美ヶ丘駅から新祝園駅までの早期延伸の実現は、学研都市の総仕上げに欠かすことのできない重要な交通基盤であり、京都府におかれましても、積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

【結果】

京都府としても鉄道事業者へ働き掛けているが、事業者の財源確保や路線の

採算性など、慎重に検討されている。引き続き、働きかける。

(2) 京奈和自動車道の早期整備について

【要望内容】

平成29年4月に開通した新名神高速道路（城陽・八幡京田辺間）とのアクセス向上による全国的高速道路ネットワークとの連携強化を図るため、京奈和自動車道（京奈道路）田辺北ICから木津IC間の早期4車線化や、早期の全線整備が求められることから、京都府におかれましては、国や関係機関へ働きかけていただきますよう、お願い申し上げます。

【結果】

昨年、国では、2車線の有料道路を安全面や災害時対応のために4車線化を目指すこととなったが、京都府においては京都縦貫自動車道が優先された。

京奈和自動車道については、早期実現のために引き続き国へ働きかける。

(3) 山田川「水辺ランド」の早期整備について

【要望内容】

けいはんな学研都市の建設に伴い、周辺に新たな都市空間が形成されるなか、歴史ある集落との間に貴重な水辺空間として残された一級河川山田川には、親水拠点としての役割など、周辺住民のニーズに応じた新たな役割が求められております。

京都府におかれましては、これまで、地元住民とのワークショップなどを通じて山田川周辺整備計画を策定され、これに基づき整備を推進していただいているところでございますが、未整備となっております古川橋上流及び山田川橋上流の親水拠点などについては、令和5年春に一部開通予定の国道163号精華拡幅にあわせて早期に整備していただきますよう、お願い申し上げます。

【結果】

国道163号精華拡幅を早期実現に向けて優先して取り組まれている。

その後、環境整備について、京都府も国と連携して取り組む予定である。

(4) 府道生駒精華線のバイパス道路の早期整備について

【要望内容】

本町東畑地区を經由する府道生駒精華線は、一部歩道整備をいただいているものの、カーブが連続し、幅員が狭く離合が困難な区間が存在する道路で、ひとたび土砂災害が発生すると、迂回路が無く集落が孤立する可能性があるため、バイパス道路の整備が必要です。

一方、学研都市の中心クラスターである学研精華・西木津地区と学研高山地区を接続する道路整備は、産官学連携の活性化などクラスター間の連携において重要な役割を果たすものです。

つきましては、府道生駒精華線のバイパス道路の整備とあわせて、学研精華・西木津地区と学研高山地区を接続する道路整備を早期に進めていただきますようお願いいたします。

【結果】

産官学連携の活性化などクラスター間の連携において重要な役割を果たすことは、認識している。奈良県と生駒市にも働きかけている。

本町議会としても、まず生駒市議会と情報共有、意見交換など、働きかけた

(5) 高度な都市運営のための府道の適正管理について

【要望内容】

学研都市のシンボルロードである精華大通りをはじめ、奈良精華線や山手幹線などの府道について、歩道や中央分離帯に雑草が繁茂しており、交通安全や防犯、環境面などで支障をきたしており、住民からも多数苦情が寄せられています。

特に府道は、国際的な自転車レース「ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ」や国際会議などが行われる学研都市中心部へのアクセス道路として、地域間の相互交流や地域経済・文化の活性化などを図る上で重要な役割を担っておりますが、雑草や街路樹が繁茂した状態では、国家プロジェクトに位置付けられている学研都市のイメージダウンは避けられません。

つきましては、財政厳しい折ではありますが、高度な都市運営を図る上でも、

学研都市内における府道の除草や街路樹の剪定については、少なくとも年2回実施していただきますようお願いいたします。

【結果】

現状は、除草や街路樹の剪定など、年1回行っているが、予算的にも厳しい現状がある。住民を巻き込んで府民協働型事業（府予算40億円）を生かせていただきたい。

(6) 府道八幡・木津線における信号機設置について

【要望内容】

府道八幡・木津線と近鉄狛田駅東側区域を結ぶ現状における町道僧坊・前川線との交差点については、通勤・通学者と通行車両が混在する幅員の狭い道路であったため、現道から南側へ交差点及び踏切の移設を行うことにより、車道と歩道が分離された、東西を安全に通行できるアクセス道路への整備が順次進められているところです。

しかしながら、この付近には駅・商業施設・学校・保育所のほか、区画整理事業による新たな住宅地域などが密集し、車両および歩行者の往来も今後さらに多く見込まれることから、車両事故防止や通勤・通学者の安全確保に向けて、より一層の交通安全対策が必要となります。

つきましては、当該交差点の北側には、府道八幡・木津線と町道僧坊・旭線との交差点が隣接しており、これらの交差点を一体的にとらえた信号機を設置していただきますようお願いいたします。

【結果】

京都府公安委員会の管轄なのですが、働きかける。これも住民から声を挙げて、木津警察署、京都府公安委員会にも要望を提出していただき、府民協働型事業（府予算40億円内、公安委員会が2億円）を活用してほしい。

住民からは、すでに要望済み。

2. 京都府教育委員会

【要望内容】

平素は、精華町議会の運営に対しまして、格別のご理解とご支援、ご指導を

賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本町議会では、住民の代表機関として、その役割と責任を果たすため、より良いまちづくりの実現に努めているところです。

とりわけ、未来を担う子どもの健全育成は、いつの時代でも万国共通の願いであり、昭和43年に「こどもを守る町」を宣言した本町では、「教育のまちづくり」を一層推進することが町民の総意でもあります。

こうした中で、本町の重点課題といたしまして、学校校舎の長寿命化及びトイレ洋式化への改善が挙げられます。

子どもたちが一日の大半を過ごす教育環境を見ますと、昨今の生活スタイルの変化により、トイレ洋式化への改善の遅れや、学校校舎の老朽化に伴い、学校のトイレは敬遠され、子どもたちの健康面、心理面から深刻な問題であり、かつ、災害時の避難場所としても、早急な改善が求められております。

つきましては、今後、本町が小中学校校舎の長寿命化及びトイレ洋式化への改善に取り組んでまいりますので、文部科学省の交付金事業として採択いただけるよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

また、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育むICT環境の実現に向けたGIGAスクール構想により、児童生徒1人1台の実現に向けたICT環境設備の整備が加速することとなりました。

今後のICT教育の推進については、引き続き国の先導をお願いするとともに、情報機器のめまぐるしい進展に伴う機器更新など、今後発生すると見込まれる多大な費用負担に対し、自治体間格差が生じないよう国の財政支援について働きかけていただきますようお願い申し上げます。

あわせて、様々な教育課題に対応するため、教職員の増員につきましても、特段のご配慮を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

【結果】

トイレの洋式化については、京都府も引き続き国へ要望する。

ICT教育の推進については、コロナの関係で全国で導入される。情報機器のめまぐるしい進展に伴う機器更新など、今後発生すると見込まれる多大な

費用負担に対しては、京都府としても国に対して働きかける。

教職員の増員については、教員採用試験は、全国的に応募者数、採用者数が減少傾向である。人材不足ではあるが京都府としても努力する。

○ 研修先での入手資料等

研修先での入手した資料はない。



要 望 書

令和2年8月

京都府精華町議会

精華未来

要 望 書

平素は、精華町議会の運営に対しまして、格別のご理解とご支援、ご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本町議会では、住民の代表機関として、その役割と責任を果たすため、より良いまちづくりの実現に努めているところです。

とりわけ、未来を担う子どもの健全育成は、いつの時代でも万国共通の願いであり、昭和43年に「こどもを守る町」を宣言した本町では、「教育のまちづくり」を一層推進することが町民の総意でもあります。

こうした中で、本町の重点課題といたしまして、学校校舎の長寿命化及びトイレ洋式化への改善が挙げられます。

子どもたちが一日の大半を過ごす教育環境を見ますと、昨今の生活スタイルの変化により、トイレ洋式化への改善の遅れや、学校校舎の老朽化に伴い、学校のトイレは敬遠され、子どもたちの健康面、心理面から深刻な問題であり、かつ、災害時の避難場所としても、早急な改善が求められております。

つきましては、今後、本町が小中学校校舎の長寿命化及びトイレ洋式化への改善に取り組んでまいりますので、文部科学省の交付金事業として採択いただけるよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

また、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育むICT環境の実現に向けたGIGAスクール構想により、児童生徒1人1台の実現に向けたICT環境設備の整備が加速することとなりました。

今後のICT教育の推進については、引き続き国の先導をお願いするとともに、情報機器のめまぐるしい進展に伴う機器更新など、今後発生すると見込まれる多大な費用負担に対し、自治体間格差が生じないよう国の財

政支援について働きかけていただきますようお願い申し上げます。

あわせて、様々な教育課題に対応するため、教職員の増員につきましても、特段のご配慮を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

令和2年8月26日

京都府教育委員会
教育長 橋本 幸三 様

精華町議会

精華未来 代表 岡本 篤



要 望 書

令和2年8月

京都府精華町議会

精華未来

要 望 書

平素は、精華町議会の運営と本町行政の推進、並びにけいはんな学研都市の建設推進に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本町議会では、住民の代表機関として、その役割と責任を果たすため、より良いまちづくりの実現に努めているところであり、次の6点につきまして、要望いたします。

1. 京阪奈新線の新祝園駅への早期延伸について

交通アクセスの改善は、学研都市建設当初からの課題であります。

とりわけ京阪奈新線の延伸は、学研都市の中心部へのアクセスを大きく向上させるだけでなく、京都市内と学研都市、大阪夢洲を直結させることにより、沿線地域のさらなる発展と沿線住民の利便性向上が期待されます。

本町議会としても、令和元年度に全会一致で「京阪奈新線の新祝園駅への早期延伸を求める決議」を行ったほか、昨年11月には町・商工会・学研都市立地企業による「京阪奈新線新祝園ルート整備促進協議会」の設立とあわせ、「早期延伸を求める決起大会」が開催されたところでございます。

近鉄けいはんな線の学研奈良登美ヶ丘駅から新祝園駅までの早期延伸の実現は、学研都市の総仕上げに欠かすことのできない重要な交通基盤であり、京都府におかれましても、積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

2. 京奈和自動車道の早期整備について

平成29年4月に開通した新名神高速道路(城陽・八幡京田辺間)とのアクセス向上による全国的高速道路ネットワークとの連携強化

を図るため、京奈和自動車道（京奈道路）田辺北 I C から木津 I C 間の早期 4 車線化や、早期の全線整備が求められることから、京都府におかれましては、国や関係機関へ働きかけていただきますよう、お願い申し上げます。

3. 山田川「水辺ランド」の早期整備について

けいはんな学研都市の建設に伴い、周辺に新たな都市空間が形成されるなか、歴史ある集落との間に貴重な水辺空間として残された一級河川山田川には、親水拠点としての役割など、周辺住民のニーズに応じた新たな役割が求められております。

京都府におかれましては、これまで、地元住民とのワークショップなどを通じて山田川周辺整備計画を策定され、これに基づき整備を推進していただいているところですが、未整備となっております古川橋上流及び山田川橋上流の親水拠点などについては、令和 5 年春に一部開通予定の国道 163 号精華拡幅にあわせて早期に整備していただきますよう、お願い申し上げます。

4. 府道生駒精華線のバイパス道路の早期整備について

本町東畑地区を經由する府道生駒精華線は、一部歩道整備をいただいているものの、カーブが連続し、幅員が狭く離合が困難な区間が存在する道路で、ひとたび土砂災害が発生すると、迂回路が無く集落が孤立する可能性があるため、バイパス道路の整備が必要です。

一方、学研都市の中心クラスターである学研精華・西木津地区と学研高山地区を接続する道路整備は、産官学連携の活性化などクラスター間の連携において重要な役割を果たすものです。

つきましては、府道生駒精華線のバイパス道路の整備とあわせて、学研精華・西木津地区と学研高山地区を接続する道路整備を早期に進めていただきますようお願いいたします。

5. 高度な都市運営のための府道の適正管理について

学研都市のシンボルロードである精華大通りをはじめ、奈良精華線や山手幹線などの府道について、歩道や中央分離帯に雑草が繁茂しており、交通安全や防犯、環境面などで支障をきたしており、住民からも多数苦情が寄せられています。

特に府道は、国際的な自転車レース「ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ」や国際会議などが行われる学研都市中心部へのアクセス道路として、地域間の相互交流や地域経済・文化の活性化などを図る上で重要な役割を担っていますが、雑草や街路樹が繁茂した状態では、国家プロジェクトに位置付けられている学研都市のイメージダウンは避けられません。

つきましては、財政厳しい折ではありますが、高度な都市運営を図る上でも、学研都市内における府道の除草や街路樹の剪定については、少なくとも年2回実施していただきますようお願いします。

6. 府道八幡・木津線における信号機設置について

府道八幡・木津線と近鉄狛田駅東側区域を結ぶ現状における町道僧坊・前川線との交差点については、通勤・通学者と通行車両が混在する幅員の狭い道路であったため、現道から南側へ交差点及び踏切の移設を行うことにより、車道と歩道が分離された、東西を安全に通行できるアクセス道路への整備が順次進められているところです。

しかしながら、この付近には駅・商業施設・学校・保育所のほか、区画整理事業による新たな住宅地域などが密集し、車両および歩行者の往来も今後さらに多く見込まれることから、車両事故防止や通勤・通学者の安全確保に向けて、より一層の交通安全対策が必要となります。

つきましては、当該交差点の北側には、府道八幡・木津線と町道僧坊・旭線との交差点が隣接しており、これらの交差点を一体的にとらえた信号機を設置していただきますようお願いします。

令和2年8月26日

京都府知事 西脇 隆俊 様

精華町議会

精華未来 代表 岡本 篤